

第2学年 美術科学習指導案

日時 平成19年10月12日(金) 公開授業2
生徒 北上市立上野中学校 2年B組
男子19名 女子15名 計34名
場所 上野中学校 美術室
指導者 教諭 齋藤 千香子

1 題材名 透明な世界(絵画) — グラスと心象 —

2 題材について

(1) 題材及び教材観

本題材は、学習指導要領、A表現の第2学年及び第3学年の「ア 対象をみつめ感じ取ったこと、考えたこと、夢、想像や感情など心の世界をスケッチに表すこと。」を中心に設定した。指導要領では、「一人一人が感じ取ったことや対象から受けた感じ、夢や感情、知的構成の世界などの心的世界をスケッチして楽しむことが、自分の心を自分で見つめ直し、自己確認することにもなる」とある。今回は、前回描いた透明なガラスの素材を中心に、「透明」という言葉を通して、そこから連想されるイメージを豊かに膨らませ、心の世界を表現させたい。

心象表現においては、何かの形からヒントを得る、あるいは何かの形を借りて心の中のものごとを目に見える形にするということが、表現の鍵になる。当然、そのための表現力が必要になる。生徒達は、透明なガラスという素材の特徴、特に、まわりの風景がガラスの表面に映りこむ、あるいは映りこんだ像を透かして向こう側が見える点など、よく観察して描くことを前回の授業で学んでおり、今回の心象表現のための裏づけとなりうる。また、「透明」という言葉は、様々な悩みを抱えつつも純粋なものを理想とする思春期の生徒達にとって「鍵」となる言葉である。今回の心象画における透明なガラスの位置づけは、イメージの世界と現実の世界をつなぐもの、あるいは、作者の心の器など、生徒個々に考えさせたい。

(2) 生徒観

「美術は好きか」というアンケートを行ったところ、22名が好き、2名が嫌い、8名がどちらでもないという結果であった。大半の生徒は美術が好きで意欲的に取り組む生徒が多く授業以外の場面でも、レタリングやキャラクターやイラスト等の表現を好む傾向がある。半面、自分でイメージを組み立て、発想を膨らませることが難しく、アイディアスケッチなどで考え込んでしまう場面も見られ「思いはあるが、表現できない」というジレンマがある。上手く描きたいという欲求は高く、もっと上手くなるには「練習をする」、「慎重に作業を進める」、「よく物を見るのが大切」等、冷静に分析している。

前回、つまずきやすい光と影の表現方法を学習することで、透明な素材が描けるという実感をもった生徒が多かった。今回さらに発展させ、心象表現を取り上げ、思春期で揺れる心の内的なイメージを豊かに発想させたい。

(3) 指導観

① 「個に応じた手立て」について

美術科では「一人ひとりに課題解決能力を身につけさせる指導」と考えた。表現する上

でぶつかるアイディアの発想について、イメージしやすいよう導入することによって、個々の発想力が深まり、表現できることがねらいである。

② 評価の生かし方について

個々にイメージができていないか、アイディアスケッチとして発想できているかは、机間巡視によって把握する。Cの生徒への助言もその場で与えたい。また、学習カードの記入によって自己評価させ、どのように発想力が深まったのか評価させたい。そして、相互評価によって、次時の仕上げのためのヒントを得、さらに質の高い作品を目指させ、達成感を味わわせたい。

3 題材の目標

- (1) 「透明」というイメージから発想することができる。
- (2) 発想したものをグラスと組み合わせた画面構成として表すことができる。

4 題材の指導計画（全7時間）

- 第1時 「透明」から連想されるキーワードや情景をシートにまとめさせる。
 第2時（本時）「透明」をキーワードにイメージを膨らませ、グラスを入れてアイディアスケッチをすることができる。
 第3時 アイディアスケッチをもとに作品の骨格をしたがきすることができる。
 第4時 作品の細部を描き、鉛筆によるしたがきを仕上げる。
 第5・6時 白色鉛筆と、水彩絵の具の淡彩により完成させることができる。
 第7時 完成した作品を相互に評価し、よさを見つけることができる。

5 題材の評価規準

題材名	表現（絵画） 透明な世界 — グラスと心象 —
題材の目標	・「透明」をキーワードにイメージを膨らませ、グラスをベースにして心象表現ができる。
おもな学習活動	・「透明」をキーワードにイメージを膨らませる。 ・グラスと組み合わせて画面構成を考える。 ・鉛筆、白色鉛筆、水彩絵の具によって作品を仕上げる。
評価規準	・「透明」からイメージを豊かに膨らませることができる。（関・意） ・自分が持ったイメージを、アイディアスケッチを通して画面構成することができる。（意・表） ・アイディアスケッチをもとに、したがきをすることができる。（表） ・白色鉛筆や水彩絵の具で効果的な表現ができる。（表） ・友達の作品のよさを見つけることができる。（鑑）
評価の方法	学習シート、机間巡視、生徒作品

6 本時の指導

(1) 目標

透明をキーワードにイメージを膨らませ、グラスを入れてアイディアスケッチをすることができる。

(2) 本時の評価の観点と具体的評価規準

	A 十分評価できる	B おおむね評価できる	C 努力を要する生徒への手だて
美術への 関心・意欲 態度	心の内面とグラスを組み合わせ、発想し、意欲的に表現しようとしている。	心の内面とグラスを組み合わせ、発想し、表現しようとしている。	具体的な場面を想起させるような、声かけをし、発想の手助けをする。
表 現	心の内面とグラスを組み合わせ、発想し、アイディアスケッチとしてイメージ豊かに表現することができる。	心の内面とグラスを組み合わせ、発想し、アイディアスケッチとして表現することができる。	発想したものを具体的にどのような表現にすればいいか例をあげ助言する。

(3) 展 開

●：評価 ◆：手だて

	指導内容	生徒の学習活動	留意事項と評価・手だて
導 入 10 分	1 前時の想起 2 透明をキーワードにシートにまとめたものを発表させる。 ・透明から発想するものがほかにどんなものがあるか、発想を膨らませるために例をだす。 ・どのような場면을絵にするか、シートから選び、どのように組み合わせるか考えるということを指示する。	・透明から連想されるものをキーワードに、シートにまとめたものを発表する。 ・説明を聞きながら、画面をどのように組み立てれば良いか考える。 ・自分の心の中のどのような気持ちや場面を取り上げるか選ぶ。 ・学習課題を把握する。	・用具の準備 ・グラスを配布しておく。 ・事前に学習シートに記入させておく。 ・説明を聞きながら、自分のシートの内容を思い浮かべ、どのような組み立てにするか考えさせる。
	3 学習課題		
	透明をキーワードに、グラスを使って自分の「心」を表現しよう		

<p>展 開 30 分</p>	<p>4 グラスは内と外の世界をつなぐものだという説明をし、グラスの画面への入れ方は自由だということを伝える。</p> <p>5 心・時間・場所・思い温度・光や影など、イメージを膨らませる言葉を話し、具体的にできるよう手助けをする。</p> <p>6 発想できた生徒の例を取り上げ、どのような点がよいか説明する。</p>	<p>・説明を聞く。</p> <p>・自分のイメージを形に表すよう、アイディアスケッチを始める。</p>	<p>●表 グラスと内面を組み合わせ、発想し、下書きをすることができる。</p> <p>Cの生徒への手だて</p> <p>◆ 発想したものを具体的にどのような表現にすればよいか、例をあげ助言する。</p> <p>Bの生徒への手だて</p> <p>◆ 心の内面とグラスを組み合わせ、発想し、アイディアスケッチとして表現することができる。</p> <p>↓</p> <p>Aの生徒への指導</p> <p>◆ 心の内面とグラスを組み合わせ、発想し、アイディアスケッチとして、イメージ豊かに表現することができる。</p>
<p>終 末 10 分</p>	<p>7 相互評価 お互いの作品を評価し合い、アドバイスするよう指示する。</p> <p>8 次時の連絡</p>	<p>・お互いの作品を評価し、アドバイスを付箋で学習シートに貼る。</p> <p>・友達の作品をみてどのような点がよいと思ったか、また、感想を発表する。</p>	<p>・友達の作品の発想の良さに気づかせると共に、評価された生徒の今後の作品制作の意欲づけにしたい。</p>

★ 美術学習シート ☆ 文章か○で答えよう。

A 良くできた B できた C あまり良く出来なかった D できなかった

白い紙に描いた時	白い紙にグラスを描いて感じたこと	改善点			
	光が描けたか	A	B	C	D
	影が描けたか	A	B	C	D
描色い画た用時紙に	前回と比べて変化 したことを書こう。 透明感や空間等	・			
比前 べ回 てと	光が描けたか	A	B	C	D
	影が描けたか	A	B	C	D
感想を貼ってもらおう！					
学習して感じたこと					

2年組番氏名()

美術が好きですか? 好き 21名 嫌い 2名 どちらでもない 7名

好き (好きな内容?)		嫌い	
ものづくり	8名	うまくかけない	1
絵を描く	7名	描写力がない	1
色をぬる	7名	アイディアがでない	1
木彫	9名	説明がわからない	1
デッサン	1名	ぬりが苦手	1
レタリング	2名	道具使えない	1
版画	2名	あきる	1
イラスト	5名		

(同じ人)

どちらでもない

うまく描けない 1名
色ぬり苦手 1名
道具使えない 1名
描写力がない 1名

(好きなのは色ぬりものづくり)

好きな人: どうすればよいか?

練習すればうまくなる
やる気をだす
絵をうまくかけるようになれば上手く表現できる
自分で進んで絵をかくようにする
肩の力をぬく
よく見ること2名
慎重に作業をすすめる。
心をこめる
色ぬりをてきとうにしない。
気持ち次第
想像力が必要
積極的になる
アイディアがたくさん浮かべば・・・。
ぱっとアイディアが浮かべば良いが・・・
絵も彫刻も何をデザインすればいいのか
すぐに思いつかないからそこを解決したい。
一生懸命かきまくる
実際にみる
心のまよい
うまくかけない
描写力がない
うまくかければ・・・。
恥ずかしがらない
ともだちのぬり方をマスターする。良いものをぬすむ。